

台湾の高校生が 教育旅行で名寄市を訪問

1月26日～27日の日程で台湾の「國立鹿港高級中學」の高校生をはじめ34人が教育旅行で名寄市を訪れ、市内の高校生と授業やスキー体験などを通して交流しました。交流の様子を紹介します。



1月26日 ピヤシリスキー場に到着。加藤市長から歓迎のあいさつ後、記念撮影。



記念撮影後、スキーウェアに着替えスキー体験。



初めてのスキーでしたが皆さん楽しんでいました。



1月27日 名寄産業高校での交流。代表者により記念品を交換しました。



記念品を交換後、みんなで記念撮影。



一緒にうぐいす餅を作りました。



箸置き作り体験中に記念撮影をしました。



午後から名寄高校の生徒と交流し、昼食(給食)を一緒に食べました。



名寄高校での交流。琴体験や英語の授業を行いました。



最後に名寄高校の生徒と記念撮影。名寄を後にしました。

市では、台湾との交流事業の一環として昨年7月の教育旅行モニターツアーなど、これまで台湾からの教育旅行の誘致に取り組み、この度、誘致が実現しました。

1月から2月にかけて台湾から6校が名寄を訪れ、台湾の高校生が市内の高校生との交流やスキー体験などを行いました。

市の地域資源を有効活用した今回の教育旅行の受け入れは、名寄高等学校、名寄産業高等学校をはじめ、民間事業者などと連携し、市内の高校生に国際理解教育や国際交流の場を提供するとともに、地域振興に結び付けようとするものです。

※教育旅行…日本でいう修学旅行